

「車と家をもものづくりでつなぐ」をビジョンに「EIBSV」を製造

ダイヤモンドエレクトリックホールディングス(以下HD)は連結子会社のダイヤモンド電機(大阪市淀川区)を中核事業会社として、主に自動車機器、エネルギーソリューション、電子機器の三つの事業を展開する。自動車機器は点火コイルや電装品、エネルギーソリューションはパワーコンディショナー(パワコン)や蓄電システム、電子機器はエアコン用リアクターやインバーターユニットなどの製造・販売を行っている。「車と家をもものづくりでつなぐ」を経営ビジョンに掲げ、電気自動車(EV)にためた電気を暮らしの中の省エネに役立てたり、地域内で融通し合ったりするための技術や製品の開発に力を入れている。



▲小野有理社長

め電力供給が不安定に
なるという課題もあ
る。そこで電力需給の
バランスを補助する
「インフラ」として期
待されるのがEVだ。
EVを動く蓄電池とみ
なして、家庭だけでな
く、大手電力会社が管
理する電力網に電力を
供給する仕組みが構想
されており、EVから
家庭への電力供給は
「V2H(ビークル・
ツー・ホーム)」、電力
網へは「V2G(ビークル・
ツー・グリッド)」
と呼ばれる。

小野社長は旧ダイヤ
モンド電機が経営再建
中の2016年に、創
業一族の懇請を受けて
経営トップに就任し
た。その後、「事業再
生ADR制度」による
事業再生を進めていた
旧田淵電機もM&A
(合併・買収)し、前
例のない「上場企業2
社同時再生」という難
業に取り組んできた。
現状について、小野社
長は「売上高は十分な
交渉力や調達力を持つ
規模までたどり着きつ
つある。視界良好に、
安定経営を続けるため

日本の トップランナー企業

ここから 反転攻勢

「自動車機器、エネ
ルギーソリューション、
電機・エネルギーに関
心、電子機器の」事業
わる先端技術を融合し



て車と家をつなぎ、持
続可能な社会づくりに
貢献する。ものづくりに
企業は傍業(はたらく
)傍(はた)を(らく)に
する)仲間たちみんな
の熱狂する士気に
よって沸き立つ。世の
ため、人のために、み
んなでいっしょにがんば
りましょう」
今年4月3日、同HD
の小野有理社長は製
造子会社ゼブラ電子
(栃木県大田原市)で
社長期初訓示を行い、
社長期初訓示を行い、
げきを飛ばした。この
様子は国内の各拠点の
ほか、アジアやインド
など製造や営業を担う
海外の子会社にも同時
配信された。

2023年度(24年
3月期)は新たな5カ
年の中期経営計画

終局面を駆け抜ける
との思いは強い。

EVを 社会インフラに

現在、世界的に脱炭
素社会を目指す動きが
活発化している。発電
時に二酸化炭素を排出
しない太陽光や風力な
ど再生可能エネルギー
の普及が力ギになると
言われる。しかし、再
生可能エネルギーは天
候などに左右されるた
り、地域での脱炭素化

同HDでは東京電力
ホールディングスと共
同で、家庭での太陽光
発電量に応じて蓄電池
やEVへの放充電を制
御する「EIBSV」
を開発したほか、車載
用パワコンやバッテ
リー診断機器など、V
2Gに対応した製品の
開発を進めている。ま
た、グループ会社のダ
イヤモンド電機(鳥取
市)は鳥取ガス(同
市)や鳥取市などと連携
し、自社工場のみなら
ず、小学校や住宅など

物語は 未来に続く

小野社長は旧ダイヤ
モンド電機が経営再建
中の2016年に、創
業一族の懇請を受けて
経営トップに就任し
た。その後、「事業再
生ADR制度」による
事業再生を進めていた
旧田淵電機もM&A
(合併・買収)し、前
例のない「上場企業2
社同時再生」という難
業に取り組んできた。
現状について、小野社
長は「売上高は十分な
交渉力や調達力を持つ
規模までたどり着きつ
つある。視界良好に、
安定経営を続けるため

には収益構造を盤石に
する必要があり」と説
明する。
旧ダイヤモンド電機
は1937年に点火コ
イルメーカーとして創
業し、自動車用電装品
などの製造も手がけて
きた。また、旧田淵電
機も電源装置などに強
みを持つ1925年創
業の老舗メーカーで
あった。小野社長は経
営トップに就任してす
ぐに「お客さま要求品
質第一に徹する」とい
う方針を打ち出し、2
社の強みを生かしてV
2HやV2G分野に貢
献する製品や技術を提
供する企業を目指す
と宣言した。「製造業の
正しさを表す唯一の指
標は品質だ。これから
も弊社一致でお客さま
と真摯(しんし)に向
き合っていく」と小野
社長。品質をすべての
出発点にした、再生物
語。は未来に向け、新
たなページに入ろうと
している。



▲ダイヤモンド電機 工場外観

ハイブリッド蓄電パワコン 国内シェア1位(当社調べ)



ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社

〒532-0026 大阪市淀川区塚本1丁目15番27号 TEL:06-6302-8211 www.diaelec-hd.co.jp